



市民と市長の対話集会

第75回

タウンミーティング記録集



平成26年1月18日(土曜日)

会場 子育て総合支援センター

「ころころの森」

時間 午前10時～正午

東村山市

○開催内容

平成26年1月18日（土）午前10時、子育て総合支援センター「ころころの森」におきまして「タウンミーティング」を開催しました。当日は、43名の方にご参加いただき、ご意見をうかがいました。また、事前に「ころころの森」内で東村山市のいいところ・「イマイチ」なところについて募集したご意見やご質問を『壁面ツイッター』というかたちで掲示し、同感する意見にシールを貼ってもらいランキングして、多くの共感を得たご意見やご質問を中心に対話が行なわれました。

なお、開催にあたっては市内で子育て支援の活動をしている『ひがしむらやま子育て応援ネット』の皆様、壁面ツイッターの実施やランキング集計、当日の司会等のご協力をいただきました。ありがとうございました。

●会場アンケート結果（住所地・年齢・性別について）

アンケート用紙は会場入り口で配付し、うち15枚を回収しました。

・アンケート回答者の年齢

20代	1人
30代	9人
40代	5人
合計	15人

・性別

男性	4人
女性	11人
合計	15人

・住所地

久米川町	1人
恩多町	4人
富士見町	5人
美住町	2人
諏訪町	2人
野口町	1人
合計	15人

○開催情報

●対象 市民の方（在勤・在学の方含む）

●申込み 申込みは不要です。当日、直接会場にお越しください。

（手話通訳・要約筆記が必要な方は、開催日の1週間前までに

FAXまたは電話またはEメールにてご連絡ください）

連絡先：東村山市役所 市民協働課 電話/(393)5111 fax/(393)6846

Eメール/kyodo@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp

開催日	会場	時間
平成26年4月19日（土）	市民センター	午前10時～正午
平成26年5月17日（土）	富士見公民館	午前10時～正午

タウンミーティング記録（概要）

会場での発言内容は発言要旨を記録し、個人名は伏せさせていただきました。

【市長あいさつ】

皆さん、おはようございます。ころころの森でタウンミーティングを行いますのが今回で2回目ということで、今日は土曜日の早い時間帯にも関わらずこのように多くの市民の皆さん、それから子どもたちにご参加いただき、ありがとうございます。

タウンミーティングは毎月1回、東村山市内の各町でやっているのですが、参加される方の平均的な年齢が60代・70代の方が多くて、市民と言えば0歳から若い方もいらっしゃるわけで、極力いろいろな世代の方の声も聞かせていただきたいということで昨年から子育て応援ネットの皆さんと協力しながらこうした機会を設けさせていただいています。

東村山市では豊かな自然環境等を活かしながら、「子育てするなら東村山」と言われるようなまちにしたいということで、この間、保育施設等の子育て支援事業を積極的に展開させていただいています。まだ十分ではありませんが、東村山で人生のスタートを切った子どもたちが振り返ってみて、「自分の人生を東村山でスタートしてよかったな」と後々思ってもらえるようなまちにしたいと思いき、まさに子育て真っ最中のお父さんお母さんたちが孤立感を持つことなく、お互いに支えあえる明るい子育て環境ができればなというふうに願っているところでございます。

今日は限られた時間ですけれども、忌憚のないご意見をいただければというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。



【壁面ツイッターの報告】

「ひがっしー」を特別ゲストに迎え、壁面ツイッターのランキングを発表しました。

■これからも東村山市に住み続けたい！

YES 42票 NO 1票

■東村山市のいいところ

- 1位 ころころの森のような乳児向けの遊び場
をつくってもらえたこと 22票
- 2位 無人野菜販売など採りたて野菜がすぐ手
に入る 9票
- 3位 自然を身近に感じられる 8票
- 4位 「ころころネット」ができてうれしい。
情報を探しやすい 7票
- 5位 市民が活動的でひろばやあそび場講座な
どを企画・運営をしているところ 6票
市内に駅が9つあり、出かけるのに便利
 6票

<その他の意見>

うどんがおいしい／災害が少ない／図書館、児童館、おひさま広場、ころころの森など在宅で子育てしている人が過ごせる施設が多い／市民性なのか温かく優しい人が多い。ママもフレンドリーで皆さん感じがいい



■東村山市の「イマイチ」なところ

- 1位 歩道が狭いまたはない。危ない 32票
 - 2位 小さい公園はいっぱいあるが、みんないま
いち。大きい公園、おもしろい遊具がある
公園などが欲しい 18票
 - 3位 中学校に給食がない 13票
出産など突然で緊急な時の兄弟の預け先
がない 13票
 - 5位 ポール遊びができる場所がない 11票
- <その他の意見>

待機児が多い。保育料が近隣市より高い／市のHPから「ころころネット」が見られないのが不便／駐車場のある公園が欲しい／「サンパルネ」の使い方がもったいない／出産できる産院がない／鷹の道にバスが通ってない(富士見・廻田方面)／西武園、西武遊園地駅にエレベーターがない／児童館やおひさま広場をもっと充実させて、「行きたい」と思える遊びやすい環境にしてもらいたい／「たんたんのうち」みたいな一時預かりが他の地域にも欲しい／バスの本数が少なくて気軽に出かけられない／秋津方面も発展させてほしい(駅前ロータリーなど)／秋津地域に保育園が少なく集中してしまう／府中街道にもバスを走らせて欲しい／公園に時計をつけてほしい／「ころころネット」に掲示板があれば、市の情報が交換できる／市役所に行かなくても気軽に子育ての相談、悩みごとなど話を聞いてくれる場所(窓口)が欲しい／「サンパルネ」に授乳室がないように思う。なければつけてほしい／市の地図を市民に有料で販売している

司会◎

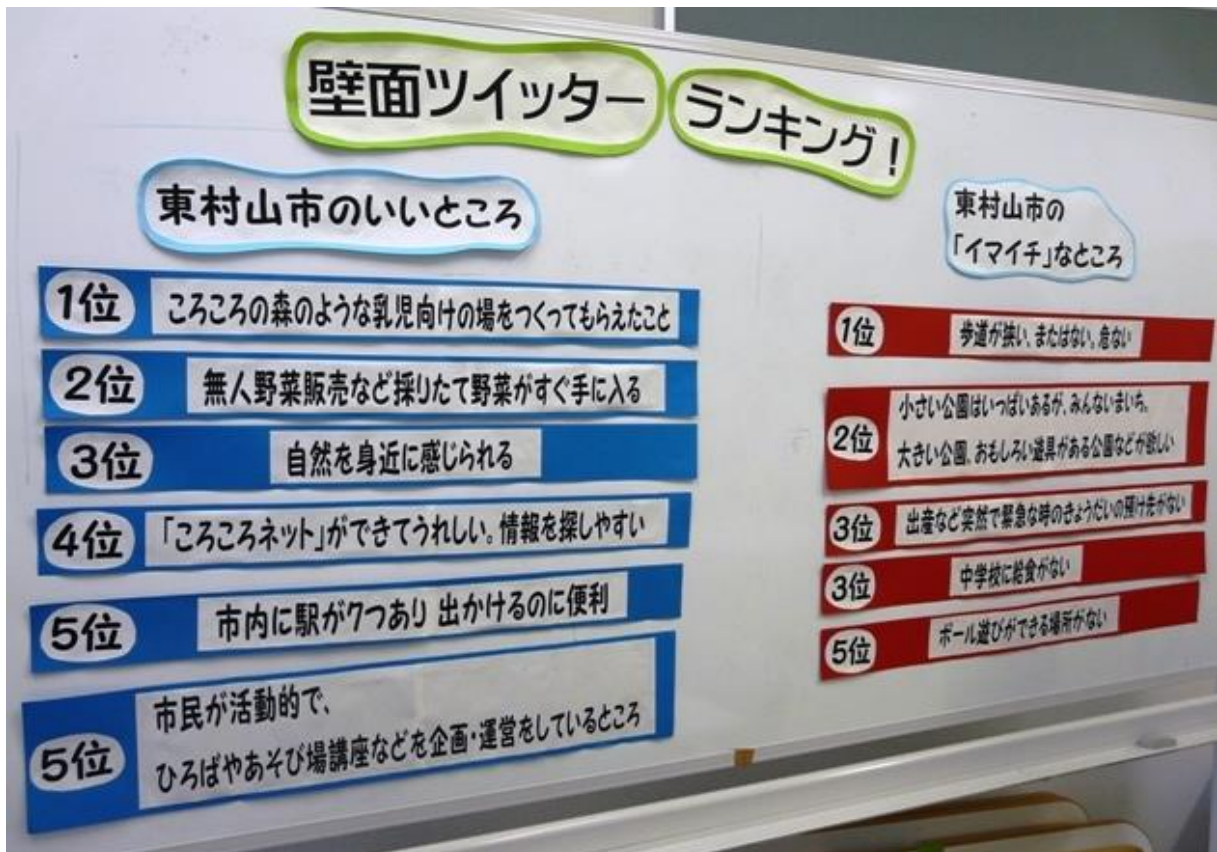
ランキングをざっと見てみて、市長いかがでしょうか？

◎ 市長 ◎

そうですね。「いいところ」でころころの森に通ってきてくださる方はここをすぐ評価していただいているのかなというふうに思っています。今まで東村山市の行政としての子育て支援というのは、今でも解決されているわけではないのですが保育園の待機児童が多いので、どうしても待機児の解消という視点が多かったのですが、主に家庭で子育てをされている方に対する支援があまりされていなかったので、以前、ここは東京都の保健所だったのですけれどもここを取得する時に下は社会福祉協議会に入っていて、上は子育てに関するちょっと大型の広場をつくろうということで、白梅大学や今、運営していただいているNPOの皆さん等にご協力いただいitてつくってきたんですね。これからもこの施設は大事にしていきたいなというふうに考えています。

それから「イマイチ」なところはごもっともなところなのですが、昨年も中学校給食の話が出たのですがスクールランチはあるんです。ただ、お弁当と選択制になっているので、「味がどうなの」とか「冷えたご飯で子どもたちがかわいそうじゃないか」という意見はあるのですが、中学校で給食が全くないわけではないのでそこはご理解いただければなというふうに思います。

それから歩道が狭い、危ないというのは子育て世代の方だけではなくて多くの市民の方、特に高齢者の方や障害者の方からも出ているのですが、既存の道路を広げて歩道をつけるというのはなかなか難しいのですが、新しく道路をつくる等のまちづくりを進める時にできるだけ安全に通行できる道路づくりを心がけていきたいなというふうに思います。もし後ほど「自分の住んでいるこのエリアをすぐに何とかしてください」というお話があれば個別に承りたいと思いますので、よろしく願います。

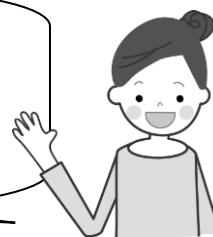


【会場でのご意見】

◆幼稚園に通わせている家庭への補助の充実を

この間、私立幼稚園のPTA総会の時に市長さんを拝見して、幼稚園の補助金等にご尽力されているので、すごく感動した。ころころの森に来ている皆さんはたぶん幼稚園に行くと思うので、そちらの補助をよろしくお願いします。

(富士見町 年少児のお母さん)



◎ 市長 ◎

幼稚園の関係についてご要望をいただきました。平成27年度から国の制度で『子ども・子育て支援新制度』というのが開始される予定になっていて、幼稚園の補助金の給付制度が大きく変わる可能性があります。これについては、市でも国からの情報をいただくとともに、各幼稚園長と情報共有させていただいています。もともと保育所は厚生労働省が所管していますが、幼稚園は学校法人なので文部科学省が所管していて、制度も成り立ちも全然違いますが、国からは幼稚園と保育所の「負担の平準化」を図る考えが示されておりますので、支援新制度の導入によって、幼稚園にお子さんを通わせている保護者の方についても負担が少なくなるように我々も努力していきたいなというふうに考えています。

◎ 子ども育成課より ◎

幼児教育に係る保護者負担を軽減し、段階的に無償化していく取り組みとして、26年度については、低所得世帯び多子世帯の保護者負担の軽減の拡充を行う予定としています。

◆保育園の待機児について

壁面ツイッターの意見

- 待機児が多い。保育料が近隣市より高い
- 秋津地域に保育園が少なく集中してしまう

東村山は結構住みやすいと思う。今はあまり問題ないが、壁面ツイッターにも「保育園の待機児が多い」とあるように、子どもを1歳半から保育園に入れたいと考えているのだが。

(恩多町 外国人のお父さん)



◎ 市長 ◎

保育園の問題ですが、東村山市も数年前まで200人（平成23年度222人）を超える待機児童がいて、何とか待機児童を少しでも解消しようということでこの間、民設の認可保育所を新しく整備したり、認可保育所の移転に合わせて定員数を増やしていただいたりということで、昨年4月1日時点では待機児童が100人以上減って81人までになりました。ただ、まだ入りたくても入れないお子さんが81人もいるので、これからどうしていくかということが大きな課題になっています。

一方で、認証保育所等の認可外保育施設が今年度大幅に定員割れしてしまって、経営的にも非常に

厳しくなってしまったという現象があります。お子さんを認可外保育施設に預けたときの経済的負担を市としてももう少し軽減できないかどうかを検討させていただいてまして、認可保育所、幼稚園、認可外保育施設等の中から、保護者の皆さんが選択できて、預けたいところに預けられるような状況を早くつくっていききたいなというふうに考えています。

◎ 子ども育成課より ◎

平成25年10月には、多摩湖町の東大典保育園（現東たいてん保育園）が新園舎に移転することに伴い定員が42名拡大され、さらに待機児童が解消されるものと期待しているところであります。

今後も状況を注視しつつ、認可保育所のみならず、認証保育所等の認可外保育施設や認定こども園等も活用し、さらなる待機児童の解消を図ってまいりたいと考えております。

◆緊急時の子どもの預け先について

壁面ツイッターの意見

- 出産など突然で緊急な時の兄弟の預け先がない

下の子を出産する時に上の子の送り迎えをどうしようかなと思った。ファミリー・サポートセンターを利用しようかなと思ったが、1回700円かかるし、慣れない方とのコミュニケーションを息子が取れるかなと思った時にあまり現実的じゃないなと思って、私が出産の前日まで送り迎えして出産の1週間後ぐらいには自分で下の子を連れて送り迎えしていた。金銭面のサポートも欲しいけれども、日頃から顔見知りの人で「どんな人だ」というのがわかっているとちょっと預けやすいので、そういった地域のコミュニケーション力を高めるような活動があるといいなと思った。

（お母さん）



◎ 市長 ◎

そうですね、下のお子さんを出産されて保育園に通園する場合の送り迎えの問題というのは、結構深刻というか大変な課題かなというふうに思っています。市としてはおっしゃっていただいたように基本的には「ファミサポをご利用ください」というようなかたちになるのですが、毎日のことになると長期に亘って毎回700円払うというのは結構大変なのかなと今お聞きしていてそんなふうに思いました。市のほうでどこまでそういう経済的な支援ができるのか検討したいと思います。

それと地域の中でのいわゆる顔見知りの関係の人にサポートしていただけるような体制づくりということは、まさに今、東村山市のファミリー・サポートセンター機能をこちらで運営させていただいてまして、今、いろいろなかたちで利用者とサポートする側のきっかけづくりとか顔の見える関係づくりみたいなことはやっていますので、それをもっと広げていくことが大事なんじゃないかなというふうに思います。ちょっと私も具体的な実態があまり見えていないところもあるので、またこちらのファミサポに携わっている方々のお話なんかも聞きながら、できるだけ気軽にご利用いただけるようなことを考えていく必要があるのではないかなというふうに思っております。

◎ 子ども総務課より ◎

市長の回答のとおりであります。今後の子育て支援の在り方については、平成27年度よりスタートする『子ども・子育て支援新制度』の支援事業計画策定において、子ども・子育て会議等できちんと議論し、決めていきたいと考えています。

◆医療費助成について

私は国家公務員をしていて転勤族で、東村山市に来て2年ぐらいになるが、子どもの医療費助成が一番気になっている。行政によってもまちまちだが、東村山は中学生になったら1割程度の医療費助成というのが目について、他の自治体を確認すると中学生・高校生まで医療費助成が当たり前ようになってきているが、その辺がいかがなものか疑問。 (富士見町 1歳児のお父さん)



◎ 市長 ◎

保険証にいわゆる㊟(マル乳)とか㊞(マル子)と書いてあるのがありまして、㊟(マル乳)というのは未就学のお子さんについて基本的には東京都と市で「ほぼ全額、医療費をみますよ」ということでやらせていただいています。㊞(マル子)というのは小学生から中学生のお子さんなんですが、東京都の中でも財政的に豊かな23区なんかは区で全部お出しになって医療費は面倒みてくださっているのですが、三多摩は23区と比べると財政的にちょっと厳しいところがあって、当市も一定程度、保護者の方にご負担いただいたり、あるいは所得制限を設けさせていただいたりということで、23区と比べるとその辺で若干違いがあるのは事実だと思っています。ただ、基本的に未就学から中学を卒業するまでの医療費の大半を東京都と都内の区市町村で負担しているので、全国的にみると医療費については他県に比べると少ない負担で済んでいるのではないかなと思います。

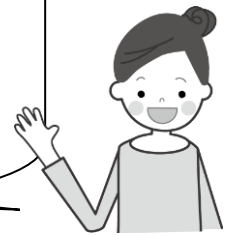
お子さんの医療費については子どもの貧困とかいろいろな課題があるので、それらについては今後、財政状況を見ながら検討させていただきたいというように考えています。

◆幼児が遊べる施設を

壁面ツイッターの意見

- 図書館、児童館、おひさま広場、ころころの森など在宅で子育てしている人が過ごせる施設が多い
- 児童館やおひさま広場をもっと充実させて、「行きたい」と思える遊びやすい環境にしてもらいたい

ころころの森は広いし、おもちゃもいいのがあって楽しくて、すごく助かっているしありがたく使わせていただいているが、3歳になってしまうと来れない。なので3歳になったらどこに行こうかなと。公園もあるが、いい公園はどれも家から遠い。近くの公園は、夏はすごく虫が多くて使えなかったりするの、3歳になってもころころの森のような質のいいおもちゃが置いてあって遊べる施設があると嬉しい。
(恩多町 お母さん)



◎ 市長 ◎

ころころの森は乳幼児が主体の施設なので「絶対に来てはだめだ」とは言いませんが、身体の大きさがやはり0・1・2歳と3歳児以上になるとかなり違いますし、動きも活発になるので、危険防止という観点でそういうことをやらせていただいています。本来であれば3歳児以上のお子さんについては例えば地域の児童館等で遊んでもらえるようにすべきだと思うのですが、確かに恩多町には児童館もありませんので、今後、0・1・2歳児それから3・4・5歳児の未就学の子どもたちを地域で安全に遊ばせられるようにしていくにはどうしたらいいのかということはいくぶん知恵を絞らないといけないなと思っています。すみません、今すぐ「こうします」というのはなかなか申し上げにくいんですけども、ちょっと検討させていただきたいと思います。

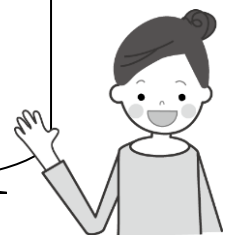
◎ 子ども総務課より ◎

各施設の特性に合わせ利用をしていただけるように、引き続き関係所管を含め検討したいと考えています。

◆公民館の保育室について

公民館を利用しているが、特に中央公民館や富士見公民館の保育室は日当たりが悪くすごく寒い。幼児や乳児が使うには環境的によくないし、揃っている備品も不衛生なところがあるので、そういうあるものをもうちょっと見直して綺麗にさせていただいて使いやすいようにしていただきたい。

(恩多町 小学生2人と6歳児のお母さん)



◎ 市長 ◎

中央公民館と富士見公民館の保育室は確かに北側ですものね。そこを南に持っていくというのはなかなか難しいので、1回現場を確認させていただいて、何かすぐに手が打てるかど

うか検討させていただければというふうに思っています。

富士見児童館を利用しているが、そんなに暗いという感じもしないし寒かったら上着を着せればいいし、その程度かなという気もする。

(富士見町 年少児のお母さん)



◎ 公民館より ◎

中央公民館及び富士見公民館の保育室について、施設の構造上、場所を変更することはできないが、室内及び備え付けてある備品等については、今後とも清掃及び衛生管理を徹底していきたい。

◆サンパルネに授乳室を

壁面ツイッターの意見

- 「サンパルネ」に授乳室がないように思う。なければつけてほしい

1歳半の子がいる。今はもう卒乳したが、まだ母乳をあげていた時に駅の近くに授乳室がなくて困っていた。一番近くてイトーヨーカドーかごろごろの森になるが、サンパルネの中に授乳室があったらいいなと思う。いかがですか？

(久米川町 1歳児のお母さん)



◎ 市長 ◎

市の子育ての施設については、昨年、授乳できるスペースを全てご用意させていただきましたけど、それ以外の施設だと恐らくまだ授乳できるスペースをきちんと確保されていない部分もあるんだろうと思います。そこはちょっと状況を把握しながら、授乳期間中のお母さんがお子さんを連れて気軽に来ていただけるような状況をつくらなければいけないなと思いました。実はやはり我々、男はそういうところまで気が回らないところがあって、今まで何度もいろいろなところでタウンミーティングをやってきましたけれども「授乳スペースを確保して欲しい」というお話は初めて聞かせていただいたので、どういうふうに進められるか検討させていただければというふうに思います。

今、メモをいただくのですが、市の児童館と公立保育園には授乳スペースがあるので、もし何かあればお使いいただければなというふうに思います。それと東京都の制度でごろごろの森とイトーヨーカドーにはあるということです。

◎ 子ども総務課より ◎

ごろごろの森に加え、お子様連れで外出の際、おむつ替えや授乳のためにご利用いただけるよう、のぐちちょう子育てひろば、サンパルネにおいて、平成24年10月に赤ちゃん・ふらっとにご登録をいただきました。

◎ 健康課より ◎

サンパルネの授乳室は3階 健康増進施設の斜め横にあり、受付に声を掛けていただければ、営業時間内いつでも使えるようになっております。なお、若干分かりにくいところもありますので、今後、表示等改善を図っていききたいと思います。

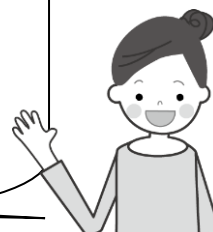
◆市内の道路整備について

壁面ツイッターの意見

- 歩道が狭いまたはない。危ない。

幼児施設に通うのにころころの森の前を歩いて踏切を渡らないといけないが、登園の時間は6本ぐらい電車が通って全然動けない状況になる。そうすると自転車と歩行者ですごい渋滞になってしまって渡る時に大変なので、朝はベビーカーでは怖くて行けなくておんぶで行くようにしている。今、線路を上げる計画をされているということなので、なるべく早くお願いしたい。

(美住町 4歳児のお母さん)



◎ 市長 ◎

道路の問題、特に鷹の道の踏切の関係ですが、実は府中街道とこの鷹の道の踏切、それから大踏切と化成小学校の前の踏切、それから諏訪町のふるさと歴史館のところの西武園駅に行くところの踏切の5箇所を取り除く連続立体交差事業と言って、東京都の事業ですが鉄道を高架にする事業がいよいよ今年から始まります。ただ、約4.5km でかなりのお金がかかるのも事実で、市のほうもだいぶ負担しなければならないのですが、「東村山市のいいところ」で駅が多いという意見がありますが鉄道でまちの中が分断されてしまって危険な状態になっているので、できればこの事業を少しでも早く推進して安全に鉄道の下を潜れるようにしたい。それと併せて今は踏切でほとんど歩道がない状態になっていますけれども、そこも少しでも歩道を広げられればと考えています。

◎ まちづくり推進課より ◎

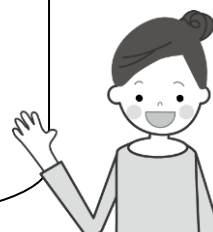
市では、『東村山駅周辺まちづくり基本構想』で掲げる、東村山駅周辺の将来像『「出会い」「ふれあい」があり、ぶらぶらと歩いて楽しいまち』の実現に向け、安全で快適なまちづくりを進めています。

踏切対策については、平成25年12月に、東京都を事業主体とする東村山駅付近の連続立体交差事業がスタートしました。

この事業により、鷹の道等の5箇所の踏切が除却され、踏切での慢性的な交通渋滞の解消、道路と鉄道それぞれの安全性の向上、鉄道により分断されていた東西の地域の一体化などが期待されます。

道路は今すぐにどうというふうには変わらないけれどもお願いしたいところだが、さらに狭くしているのが個人宅もしくは企業さんの植え込みが歩道に出てくる。これは私が切っては絶対にいけないと思うので、市としてもどこまで関与できるか難しいかなと思うが、見通しが悪い・子どもにぶつかる・歩道が狭くて危ない・行き交えない等いろいろあるので、何かいい案があったら実行していただきたい。

(お母さん)



◎ 市長 ◎

制度的に何かやるということがなかなか難しいので、お困り・お気づきのところがあれば市役所の道路管理課のほうにお電話をいただければ市のほうから市道にはみ出ている部分については切るように地主さんをお願いさせていただいています。なので誠に申し訳ないのですが、その都度、対応ということになってしまうんですけれども、ご連絡いただいたりすれば市役所のほうから「歩行者の方が

ご迷惑されているのでお願いします」ということをお伝えしている状況です。仮にそれが市の道路ではなくて都道であったりしても市から東京都のほうにお伝えして東京都のほうから言っていただく等という手立てはやっておりますので、本当に危険な状態であれば言っていただければと思います。

◎ 道路管理課より ◎

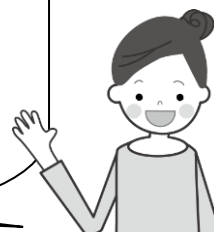
個人宅からの樹木等については個人等の財産となることから、市でも勝手に越境部分の伐採はできません。しかし、交通に支障をきたす状況であれば、所有者に樹木の適正な管理をお願いしているところです。

◆コミュニティバスについて

壁面ツイッターの意見

- 鷹の道にバスが通ってない（富士見・廻田方面）
- バスの本数が少なくて気軽に出かけられない
- 府中街道にもバスを走らせて欲しい

結婚してから東村山市にきた。子どもは毎日ここ（ころころの森）を利用して、すごくありがたい施設だなと思っている。ありがとうございます。うちは駅が近い事もあり、車を持たない生活をしようということで自転車だけで生活している。天気の良い時は市内のいろいろなところに行きやすいのですが、例えば久米川ふれあいセンターで催しがある時に雨が降ると行けない。最寄りのバス停からもかなり歩くし、本数も少ない。富士見児童館にもがんばれば歩けるが、小さい子連れで行くとしたら久米川駅から歩くしかない。秋津児童館は行くバスがあるので、本数は少なくともいいのであのようにつなげてもらえるともっと行動範囲が広がっていいなと思う。 （野口町 お母さん）



◎ 市長 ◎

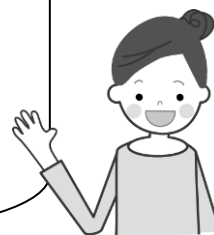
そうですね。市内の公共交通としては大きく言うと民間のバス事業者さんが運行しているバスと、市でお願いして運行しているグリーンバスと2種類ありまして、民間バスの場合はどうしても採算が取れるところに路線を引かれて、あまり採算が取れなくなると撤退されたりということがあります。市としては西武バスさんにはいろいろお願いをしていることもあるのですが、本数や路線拡大というのも民間事業者さんなのでなかなか厳しい部分があります。そこを補完するのが市でお金を出させていただいて運行しているグリーンバスになりますが、グリーンバスの場合は子育て世代の方だけではなくて市内各所で極めて要望が高い事業です。やはり日頃の足を考えてということなのですが、コミュニティバス事業というのは税金としては年間4500万~5000万円ぐらい投入して運行してまして、路線を拡大していくには財源をどう確保するかということと、それとおっしゃられるように公共施設をうまくつないでいくようないいルートを考えていく必要があって、行政だけで考えていると見落としがちなところがあります。実は昨年、市のほうでは新規路線や既存路線の見直しについてガイドラインというのをつくらせていただいて、ガイドラインに沿って「どういうところを走らせたなら安全に運行できて、市民の皆さんの利便性が向上するか」ということを地域の市民の皆さんと一緒に

に考えて、路線を拡大することを検討しようということに今、させていただいています。今後、コミュニティバスの路線の充実にあたっては、高齢者の場合はどうしても「病院とかを回って欲しい」というニーズが強かったり、子育て世代の方だとまた違って「児童館とかを回って欲しい」等、その辺のニーズをうまく調整しながら考えていく必要があるのかなというふうに思いました。

市内の交通網はエリア的には確かに不便なところがあるので、そこは解消できるように努力したいなというふうに考えています。

同じように子どもがもう少し小さい時、市役所に行くのにもコミュニティバスが富士見町を通っていないので大変不便で、西武バスを使ったがお金が高かかってしまうのでコミュニティバスを通してもらいたい。スポーツセンターとかプールに行くのも富士見町のほうから行くというのは大変難しいので、ぜひ富士見町も東村山市としてコミュニティバスを通して欲しい。

(富士見町 1歳児のお母さん)



◎ 市長 ◎

基本的な考え方としては、交通空白地域と言われる鉄道駅から600m離れて尚且つバス停からも300m離れているような公共交通網から全くスポッと落ちてしまっているエリアを第一に優先して、その解消を考えたいなというふうに考えています。

幸か不幸か富士見町は西武バスが通っていて、もっと南の小平市境の私立校のあるエリアは確かに交通不便地域になるのですが、そういうところの解消に向けてもこれから検討させていただければなというふうに考えています。

◎ 交通課より ◎

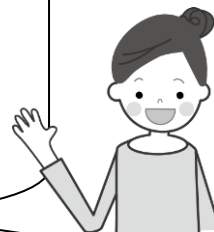
コミュニティバスの新規路線や既存路線の運行改善は、コミュニティバスガイドラインに沿って市民・市・交通事業者がそれぞれの役割を担い、協働で取り組むこととしています。

このガイドラインでは、鉄道駅から600m、バス停から300m離れた地域・運行本数の少ない地域を交通空白・不便地域として設定しています。また、丘陵地域・高齢化率の高い地域・人口密集地域を優先地域としています。

ガイドラインの概要版が、公民館など、地域の公共施設に配置してありますので、ご覧いただければと思います。

うちも車がなくて、諏訪町には循環バスを通していただいているが、雨の日は登園するにあたって早すぎたり過ぎてしまうような時間帯だったり、午前中は2~3時間、何もなくなってしまうりということで、結局、子どもの足で40分~45分かけて登園している状況。その辺の時間の設定を変えてもらえるとう有効に使えるかなと感じている。

(諏訪町 5歳児のお母さん)



◎ 市長◎

既存路線についてもいろいろご意見をいただき、諏訪町循環や久米川町循環で「皆さんが移動される朝夕の本数をもう少し増やしてもらいたい」という要望はあります。諏訪町循環についてはまだ具体的な動きはないのですが、久米川町循環については地域の自治会の皆さんと「どの時間帯に便数を増やしたらいいのか」等の検討をして、運行ダイヤを平日・土曜と休日の2通りで試行的にやらせ

ていただくので、諏訪町循環のバスについてもあまりお金をかけずに皆さんがよくお使いになる時間帯の便数を増やすようなことが考えられないか、そこはまた検討させていただきたいなと思っております。

◎ 交通課より ◎

コミュニティバス運行改善ガイドラインに基づき、久米川町循環は、平成26年3月1日から実証運行に入ります。平日・土曜の朝と昼の便を調整し、休日を昼中心の便に変更しました。

今のところ、諏訪町循環のダイヤ変更の予定はありませんが、将来的に、自治会などより、地域のニーズが大きなものとなれば、「コミュニティバス運行改善ガイドライン」に基づく改善を考えていくこととなります。

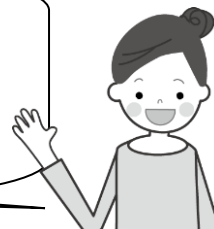
◆市内の公園管理について

壁面ツイッターの意見

- 小さい公園はいっぱいあるが、みんないまいち。大きい公園、おもしろい遊具がある公園などが欲しい。
- ボール遊びができる場所がない
- 駐車場のある公園が欲しい

「いまいち」などところの2位に「公園がいっぱいあるのにいまいち」と書いてあって、公園は多いが整備が整ってなくて雑草が生えていたり、遊具が壊れていたりというがあるので、あるものをもっとうまく保存していく方法を考えていただきたい。

(恩多町 小学生2人と6歳児のお母さん)

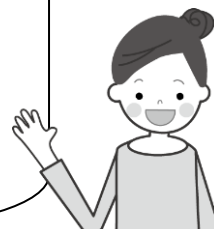


◎ 司会◎

例えば公園の具体的な名称とかはわかりますか？

恩多町は小さな公園がたくさんあって、近くに運動公園があるのでそこを使うことも多いが、小さい公園はブランコのそばが雑草だらけだったり、稲荷公園とかは木が生い茂っていて見通しが悪くて、この前、伐採してもらったが、不審者が来やすい公園というので有名になっている。公園の安全も確保できるように木の手入れをしてもらえたらと思う。

(恩多町 小学生2人と6歳児のお母さん)



◎ 市長 ◎

東村山市が管理している公園というのが約150ありまして、実はその大半が住宅開発をされる時に一定面積以上の開発をした場合、開発業者から開発用地の一部を公園として提供していただきました。そんな関係で東村山市の地域にある公園というのはあまり広くなくて、しかもできてから結構年数が経ってその時につけた遊具がかなり古くなってきています。

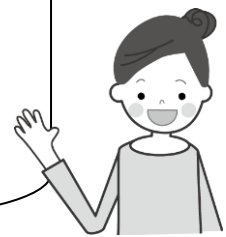
公園の遊具については、一昨年、かなりお金を投入して危険なところについては遊具を入れ替えたりということをやらせていただいています。今後もそうしたことをやったり、それから樹木が生い茂っ

て見通しがきかないようなところについても、子どもたちが事件に巻き込まれるようなことのないように適切に管理したいと思っていますが、率直に言って行政だけではなかなか手が回らないところがあって、今、久米川町の熊野公園についてはモデル的に東村山子育て応援ネットのHさんと地域の方にお手伝いしていただいたりして「市民の皆さんと一緒に公園を管理していきましょう」というようなかたちで年に何回か清掃してもらったり枝おろしをしていただいたり、公園の再生に向けて公園内に池があって水が流れない空池になっていたのですが、市としても市民の皆さんと話し合いながら何とか改修工事をしようということで、今、工事をさせていただいたりということをやっています。

今後、東村山市内では比較的大きな公園、例えば今おっしゃった稲荷公園だとかをまたセレクトさせていただいて、普段お使いの子どもたち、また子どもたちを遊ばせているお父さんやお母さん、それから地域の方にも入っていただいて、今後どういうふうな公園づくりをしていったらいいかということを検討しながら少しずつ改善していければなというふうに思っているところであります。

公園の草取りとかがやれていなかったら私たちが子どもと一緒に「ちょっと草が生えてるから取ろうか」と言って取ればいいのかと思うけど、公園の敷地だから自分たちがやっていいのかというので電話をかけるような感じなので、公園を自由に自分の庭みたいに使えるといいなと思った。

(富士見町 年少児のお母さん)



◎ 市長 ◎

公園は公のものなので、個人的に草刈りをしていただいたり個人的に枝おろしをしていただいたり、あるいは何か新しい植物を植えたりということはちょっと控えていただいたほうがいいと思うんです。ただ、市民の皆さんと行政で「こういう公園にしていこう」とプランを練って「この木はもう少し枝をおろしましょう」とか「この辺の草はみんな刈りましょう」とか、そういう前提で共同で作業していただけるといいのではないかなというふうに思っています。

富士見町の中央公園は都立なので、市役所の管轄ではなくてあそこに公園事務所がありますので、あそこも市民の皆さんと一緒に花壇づくりをやったり、いろいろなことをやっていますので、もしご興味があれば公園事務所でそういうことをお聞きいただければありがたいかなと思っています。

◎ みどりと環境課より ◎

市所管の公園でも、市民の皆様「公園・緑地等ボランティア」に登録していただき、お好きな時間・場所で清掃や樹木剪定作業を行っていただいております。

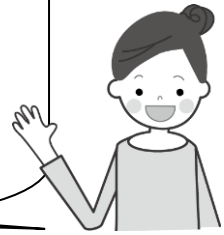
個人でも団体でも登録は可能となっており、必要な道具の提供も可能ですので、ご希望の方はみどりと環境課にお問い合わせください。

今日はスタッフとして参加しているが、草取りは全市的にできれば一番いいんでしょうけどそこは市のほうと相談してという話だが、例えば市のほうから「この日に大掃除大作戦やるよ」みたいな発信が一言あって集まれる方でやるみたいなことがあると市民のほうも気楽にというか、自分で事を起こすというのは結構勇気がいるし、特に小さい子育て世代の方は大変だと思うので、まずは行政から一言発信があって徐々に広まっていくみたいなやり方もあるんじゃないかと感じた。(美住町 小学生のお母さん)



「草取りをやりますよ」というのを発信してくれたらすごくいいと思うが、草取りだけでは「草取りか」と思ってしまう人も多いので、「子どもと一緒に草取りをやると子どもの発達にいいよ」みたいなことも発信してもらえると「子どものためなら子どもにやらせて成長を促すのはいいかな」とか思う親もいるかなと思うので、そういう発信の仕方をしてもらえるといいのかなと今、アイデアとしてちょっと思った。

(富士見町 お母さん)

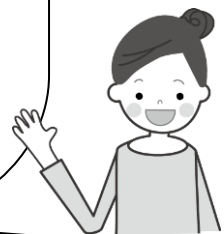


◎ 市長 ◎

熊野公園では水鉄砲大合戦とか焼き芋大会をやられたり、いろいろ楽しいイベントをやられて多くの子どもたちが参加しているので、私が言うよりご本人から少しご紹介してもらおうといいんじゃないでしょうか。

皆さん、熊野公園ってご存知の方いますか？久米川町の西武新宿線で東村山から所沢に行く時に右側に見える公園。自然が豊かでとてもいい公園なんですけどずっと寂れていて、子どもが小さい時に私自身がそこで育ててもらったような愛着がある公園なのでということで、市と他のNPOが共催してまちづくりのイベントを熊野公園でやったのでそこに参加して、こういう公園を改善させていくものを地域で住んでいる人でやったほうがいいんじゃないという話になってから、私と近所の人でやり始めた。毎月、掃除をしているが、そういうのには私たちより年齢の高い方で近所の方が来てくれるが、子育て中の方は本当に忙しくて、日曜もそんなに来られない。だけど子どもを連れて行けるような楽しいことがあると来て、その中で皆で落ち葉を掃いたりお掃除したりしている。楽しいこともあるけど、皆で環境のことを考えて公園を皆できれいにしようということもやっている。たまたま私は地域の人とそういうことをやれたからいいが、地域にそういう人がいないところもあるので、そういうのは公園を担当している市の人たちと、それから今日もびっくりしたが皆さんそういうお知恵とかやる気もあるのでそういうところを支えてサポートしてくれる人たちがいればもっとまちが皆で楽しく変わる可能性がすごくあるなと思った。

(久米川町 Hさん)



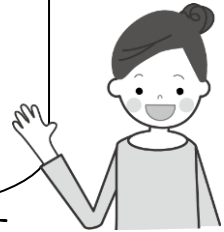
◎ みどりと環境課より ◎

熊野公園以外にも恩多稲荷公園では、子どもを対象とするイベントに併せて、市民の皆さんに清掃作業を行っていただくなど、多くの皆さんが気軽にボランティア活動に参加できる仕組みを検討しております。

今後、公園におけるボランティア活動が活発に行えるような制度設計を進めてまいります。

◆子育てに関するまちづくりについて

私自身は子どもが高校生1年生と3年生になっているが、今日は東村山市と共催させていただいている東村山子育て応援ネットの代表として参加した。今、熊野公園のボランティアの会とかの市民活動をしていて、自分自身も汗をかいで子どものためにまちをよくしていきたいというのがあってそういった活動を積極的にやっているが、まちのトップとして市長さんが子どもたちや子どもを育てている親にとってどんなふうなまちをつかっていきたいというお気持ちがあるのか、言えることがあれば聞いておきたい。（久米川町 Hさん）



◎ 市長 ◎

先ほどご挨拶では申し上げるのを忘れてしまったのですが、先月の議会でご可決いただいた『みんなが進めるまちづくり基本条例』というのが制定されました。Hさんにもいろいろ関わっていただいでつくってきたものですが、これは一人ひとりのお子さんからお年寄りまでこの東村山に住むことで誇りと喜びを感じられるようなまちにしようということで、一人ひとりの市民の皆さんが積極的にまちづくりに参加できるような仕組みをこれからつくっていかうというような趣旨で条例を制定させていただいたものであります。そんなわけで、行政で全部はできないし、かと言って市民の皆さんだけでもできない。これからは市民の皆さんと行政がまさに一緒に共同作業をしながら冒頭でも挨拶させていただいたようにこの東村山というところで人生をスタートした子どもたちが本当によりよい人生を歩んでいけるような環境を整えていくのが私たちの責務ではないかなというふうに考えています。何よりもまずは安全・安心ということが基本になろうかと思いますが、一人ひとりの子どもたちの個性をより伸ばせるような環境をつくるのが大切ではないかなというふうに考えています。

【まとめ】

◎ 司会 ◎

いろいろ話を聞いてきて「やはり子育てをするにはこういうことが必要だな」とか「こういうふうに皆感じているんだな」というのが普段のお友達同士の会話ではなくてここに来てくださっている皆さんの話を聞いて「なるほどな」と。『子育てするなら東村山』と打ち出しているのであればこういうところを私たちも「こういう子育てをしたいな」というのをぜひ皆さんと他愛もない話というかそういう話をしている中で、自分は一人ぼっちじゃなかったり皆が支えあってこのまちで住んでいけたらいいかなというふうに思っています。ぜひ、まだまだ乳幼児の子育てを担っているお母さんたちにこれから我が子だったり周りのお友達だったりとかとどんなふうな子育てをしていきたいなというのがもしあればお話していただけたら嬉しいなというふうに思います。いかがですか？

市に「こういう環境だからこういう点を改善して欲しい」ということを伝えていくのも「現実ここでこういうことが起こっている」という意見をあげることができるのは今、子どもを育てている私たちだというのがこの場を通じてよくわかった。意見を伝えることでまず現状をわかっていただく。そして全てを市に頼むのではなく、私たち自身がどんなことができるだろうかということをも自分たちの環境をよくするために自分たちでも行動しつつ、私たちだけではどうしようもないこともたくさんあるので、そういうところを市にも協力していただくような態勢がこれから取れていければなというふうに感じている。

(諏訪町 小学生2人と5歳児のお母さん)

実は1番初めの子を産んだ時には引きこもりで子育てに悩む時期がすごくあったが、その時に地域の方と出会って市の情報誌をつくることをきっかけに市といろいろなことをやらせていただいて、『トコトコ通信』を仲間と一緒に発行させてもらって、もう10年になる。「助けて」と言ったら周りにたくさんの方がいるので、とりあえず自分の気持ちを出してみてもそれを救ってくれる人が東村山にはたくさんいらっしゃるの、市長さんだったり市の方もそうだが、周りのお母さん、このころころや地域で動いている人たち皆が味方だと思ってぜひ発信してみてください。私もたくさんの方と出会っていろいろな地域支援をやっていきたいと思うので、市民だけではできないというのが最近すごくわかるので、市の力を借りてもっとたくさんの子育て中のお母さんとたくさん幸せな時間を共有していきたいなと思っています。今日はありがとうございました。(恩多町 小学生2人と6歳児のお母さん)

たぶんこれも男性は気がつかないだろうなと思うことが、お手洗いにチャイルドキープがないところが多い。お母さんもトイレに行きたいのに赤ちゃんが置けないのでトイレに行けなくてがんばって家まで帰るということを何度も体験したなというのを思い出した。少しずつ改善してきているようには思うが、探さないとなかったりとかどこにあるかわかってなかったりもするので、そういう情報も市としてアピールしていったらいいのではないかなというふうに思った。

(美住町 小学生のお母さん)

今日、私は父親一人と子ども一人で来ているが、こういうところに来るのは男性としては敷居が高いところがあった。でも、市民性なのか話しかけてくれるお母さんとかが多くて、すごく来やすいと思っている。今日も「朝からちょっと二人で行ってみようか」となって、すごく楽しみにしながら来た。今、仕事柄私は転勤族だけれども、よく妻が「他の行政に行ってもころころの森みたいなものがあればいいな」とよく言っている。このころころの森は私もすごく好きで、こういう施設がいろいろなところでも増えていければいいなと思っている。

(富士見町 1歳児のお父さん)

◎ 司会 ◎

ありがとうございます。約1時間ぐらいたったんですけども、最初は皆さん謙虚でなかなか意見が出なかったんですけど、ちょっとずついろいろな人の話を聞いていく中で「これだったら私も聞いてみようかな」とか「それは住んでいる地域にも関わることだからちょっとお話してみようかな」というところで、いつもだったら自分の胸に留めておくかママ友だけで納まるところが、市長に話ができたりするいい機会になったのかなというふうに思います。

残念ながらそろそろお時間になりました。これで子育て世代のタウンミーティングを終わりにしますが、市長のほうから感想があれば一言よろしくお願いします。

◎ 市長 ◎

今日は長時間ありがとうございました。

道路の問題、公園の問題、それから行政のいろいろなサービスの問題等いくつか今日も宿題をいただきました。皆さんが地域の中で孤立することなく安心して子育てできる環境をつくっていくということが行政にとっても大きな仕事だなということを改めて痛感させていただきました。あと、市民の皆さんから「自分たちでできることがあればぜひやっていきたい」というご発言を何人かの方からいただけたというのはすごくありがたくて、ランキングにも「市民が活動的であそび場講座などを企画・運営をしているところが東村山市のいいところだ」というふうにありますが、私も本当にその通りだなというふうに考えています。これからも市民の立場・行政の立場、立場の違いはありますが、自分たちの住んでいるまち。我々は働く場であるまちですけども、よりこのまちの中で子どもたちがすくすくと成長できるように改めてがんばっていきなりたいなということを感じたところでございます。

今日は司会をお務めいただいたWさんはじめ、多くの方にご協力いただけてきたことを心から感謝してご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

市民と市長の対話集会
第75回
タウンミーティング記録集

発行 平成26年4月
東村山市役所市民部市民協働課
東京都東村山市本町1丁目2番地3
TEL 042(393)5111
(内線2564)